

地域活動の担い手の育成支援、地域と行政との協働を推進しています

地域政策課 小藪 正裕 (一般事務 平成13年度採用)

小田原市役所を志望したきっかけ

市役所に入る以前は民間企業で営業を行っていました。目標数字を上回った時の達成感やお客様から頼りにされた時の充実感にやりがいを感じていましたが、一企業の利益を追求するだけで無く、もっと色々な方の役に立つことができないか、自分達の身近な問題を少しでも改善できないかと考え、公務員を志望しました。

公務員には、国や県など様々な行政機関があります。なかでも机上で考えるだけではなく市民と直接向き合って声に耳を傾け、ニーズを敏感に感じ取りながら仕事ができる市役所で働きたいと考えていました。



現在の仕事内容

昨年からは地域政策課で、地域コミュニティの強化について担当しています。地域では自治会をはじめとして、社会福祉協議会、民生委員、防災リーダー、消防団、学校、老人クラブなど様々な団体が活動しています。そうした様々な団体がばらばらに活動するのではなく、課題や活動を共有し、協力して主体的なまちづくりや課題解決に向けた取組が円滑に進められるよう、各種団体の連携強化に取り組んでいます。

また、地域活動の担い手不足は大きな課題となっており、担い手の育成を支援するとともに、地域と行政との協働の取組を合わせて推進しています。

仕事のやりがい

地域の課題をどのように解決していこうかと地域の皆さんと共に話し合い、活動につなげています。皆さんが集まれる日程を考えると土日や夜に会議を設定することが多く、家族団らんの時間が減ってしまうこともありますが、それでも一つ地域の課題が解決し、新たな活動に繋がり、感謝の言葉をいただき、頼りにされた時には、市役所で働けてよかったなと感じます。

また、地域では民間企業で色々な経験をつまてきた方、主婦として家庭を守ってこられた方、公務員OBなど、人生の先輩方と接することができます。市役所の中だけでは教わる事が出来ない、色々な考え方、コミュニケーションの技術や会議運営の技術など、教えていただくことが沢山あります。



受験生の皆さんへのメッセージ

市役所の仕事は幅広く多様です。一日中机に向かって仕事をする職場もあれば、今の私の職場のように現場で市民と接することが多い職場もあります。職場が変われば全く違った仕事があり、色々なことにチャレンジできることも大きな魅力です。また、責任もやりがいも大きな職場です。課題を解決することが難しくて悩むこともあります。だからこそ出来たときの喜びは大きいのだと思います。

市民のために情熱と熱意を持ってチャレンジしてみませんか。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。